

活動名: 第32回柴宮・城西定期交流大会 U-10

日程: 平成30年10月6日~7日

会場: 初日「鳥見山陸上競技場」・二日目「鳥見山多目的広場」

帯同: 初日 設楽コーチ 二日目 佐藤コーチ

結果: 3位/6チーム中

1日目

リーグ戦

アーレ 4-0 行健SSS

アーレ 0-4 柴宮A

2位トーナメント

アーレ 6-1 柴宮B

2日目

リーグ戦

アーレ 4-1 行健SSS

アーレ 2-2 矢吹SSS

2位トーナメント

アーレ 5-0 太田城西

【設楽コーチ報告】

二年に一回開催されている柴宮・城西定期交流大会ですが、柴宮SSSさんが主催しており、アーレとしては今年2回目の出場となります。柴宮SSSさんの監督さんとは社会人サッカーでプレーしている時代に仲良くさせていただいていたので、今になってもこのような子供たちのチームをお互いにもっていて親睦を図ることができています。

さて、初日は鳥見山運動公園の陸上競技場（天然芝）が会場でしたが、この競技場は私にとっての思いでの地で、平成7年ふくしま国体の福島選抜時代にプレーした競技場です。国体本大会までの間にこの地で毎週末合宿をしたりJリーグチームと練習試合をしたりしていたので、久しぶりに訪れてとても懐かしさを感じました。

そのような会場で開かれた大会でしたが、初日は順位決定が無く、交流を主とした試合で、私はU-10（4年生以下）のE3選抜（リフティング回数10回以上記録者）とE4選手で構成されたチームを帯同しました。

サッカーの大会は主にU-12（6年生以下）とU-10（4年生以下）の試合が主であるためこの年代は各種大会が多く、今日までも様々な大会に出場してきたので、当初の「団子サッカー（ボールばかり見て固まって集まってしまうサッカー）」

からポジションを意識した試合運びができるプレーに代わってきたことをこの大会でも感じ少しサッカーらしくなってきたので頼もしく思えました。

4年生以下の試合でも相手チームによっては選手数が少なく、1年生から出場している場合もあり、そんなチームにはアーレとしても学年が大きいことから試合運びが容易にできますが、4年生のみで構成しているチームには苦戦します。そんなことからアーレE3選抜選手も相手チーム次第ではスムーズにプレーができなくなることもあり厳しさを感じたことと思います。しかし、4年生たちに頑張っ合わせてながらプレーしている姿も見られ、来年はこのカテゴリーの主役になるので、この経験は大きいと思いました。他のE3選手たちもリフティングを頑張っ選抜に選ばれて上級生との経験を積んで欲しいと思っています。

また、4年生たちは試合経験を積んできたので、先ほど説明したとおり大分サッカーの試合らしくなってきたことを感じ、自分だけのプレーから味方を意識した連携プレーもできるようになってきました。

初日はこのような試合内容から計4試合の素晴らしいチームとの交流戦ができ、次の日の佐藤コーチの順位決定試合へ引き継ぎました。

コーチ 設楽

【佐藤コーチ報告】

今回で32回を迎える伝統ある柴宮・城西定期交流大会に参加し、2日目のU10を担当させていただきましたので、報告させていただきます。

大会前には台風が心配され、強い風も心配されましたが、若干強い風ではあったものの、日差しもよく、絶好のサッカー日和となりました。そのような中、選手たちも初日の勢いのまま意欲満点で朝から気持ちもハイテンションでした。

そのような選手たちですが、いつも感心させられることがあります。それは、3年生・4年生みんな仲良く行動できることです。大会も何度か経験しているとはいえ、試合中はもちろんですが、アップ、お昼、試合の合間の時間の過ごし方などみんなで行動し、とても良い過ごし方ができていると思いました。これも、3年生は4年生に自分の気持ちを表現できていたり、4年生は3年生を尊重したり、また子供たちにとっては当たり前前の自然のコミュニケーションを発揮しているのかと思います。そのような中の良さをこれからも継続して、力を合わせることをしてもらいたいと思います。

さて、試合内容はといいますと、初戦の行健SSS戦、ボールに向かう姿勢も良く、また、得点への意欲も良くできていました。もっと、基本技術「ボールを止める・

運ぶ・蹴る」をみがいてくれば得点につながったシーンも多く見られました。これからの課題であると思います。また、その試合から見られたことは、どこから攻めるかということでした。自分たちのボールをドリブルで運ぶときにわざわざ相手チームが多くいるところから攻めてしまったり、相手チームにマークされている選手にパスをして取られてしまうということが多くみられました。そのような点を改善すべく、攻めやすいところから攻めていこうと伝え、矢吹SSS戦に臨みました。結果だけだと、先制点と取られる厳しい立ち上がりでしたが、前半のうちに逆転し、後半追いつかれての引き分けという内容でした。みんなぎりぎりの緊張感のある中で、相手の少ないスペースを活用できる場面もあって、意欲的に攻撃することができたことは素晴らしいことでした。最後は攻め切ることができませんでしたが、ボールに向かう姿勢も最後まで集中を切らすことはありませんでした。最後の試合の太田城西戦は相手の隙をしっかりと狙って、積極的に全員で攻めて、多くの得点をとることができました。

2日目を通して、基本技術の点で、最後に一つ。多くの選手が右利きですが、右足でばかり、ボールを運ぼう、蹴ろう、止めようとするものがほとんどです。試合中もそのような場面が多くみられました。ここで左足のシュートを打てたら、ボールを運べたら、パスができていたらということも多くありました。これからよりサッカーが上手になるためにも苦手な足でも扱えるように練習でも両足を使ってみてください。

最後になりましたが、ご父兄のみなさま最後まであたたかい応援ありがとうございました。これからもどうぞよろしくおねがいいたします。

また、主催者の柴宮SSSのみなさま、素晴らしい大会に参加させていただきありがとうございました。貴重な経験をつむことができ、感謝いたします。

コーチ 佐藤











